

## お詫び

校長 新妻 茂

4月の学校だよりに関連していくつかご指摘をいただきました。この「学校だより」の場をもってお詫び申し上げます。

1 「生徒たちから聞き取って事実確認をした記載内容ではなく憶測で書かれている」というご指摘について  
いくつかの情報をもとに私の憶測で書いたところがあるのは事実です。生徒からきちんと聞き取りをしてから書くべきでした。このことについては既に関係の生徒には謝罪をしていますが、この場で公式にお詫びいたします。申し訳ありませんでした。今後、十分注意して記述してまいります。

2 「生徒を断罪しているのではないか」というご指摘について

一連の学校だよりの記述についても同様ですが、私は生徒を断罪しているつもりは毛頭ありません。生徒の健全な成長と発達を願って書いているところです。しかしながら、「断罪」しているのとらえている方がいらっしゃるということは、私が真意を十分に伝えきれていなかったということで、私自身に甘えがありました。申し訳ありませんでした。

3 「生徒たちのしたことが“地下鉄サリン事件”と同じ扱いをされている」というご指摘について

集団になった時に歯止めがきかないとか集団の中に自浄作用が働かないということが極限まで行き着くと「地下鉄サリン事件」のようになってしまうということを考えて欲しかったというのが私の真意です。けっして生徒たちのしたことがサリン事件と同じだとらえているわけではありません。誤解を与えるような表現になってしまったことをお詫びいたします。今後、不信や疑義を抱かれないよう十分表現に意を注いで書いてまいります。

4 「一連の学校だよりの中で、個人が特定されるような書き方をしているのは問題ではないか」というご指摘について

生徒の人権について十分配慮しなければならないのは当然のことです。そのうえで学校や生徒の実態を島の小さなコミュニティを踏まえてどう伝えればよいのか、私も腐心しているところです。今回具体的にご意見をいただき、私は、自分では自覚できていなかった傲慢や高ぶりに気付かされました。このことについては深く感謝いたします。とともに、行き過ぎがあったことを率直に認め謝罪いたします。誠に申し訳ありませんでした。今後、生徒個人が特定されないよう十分配慮してまいります。また、生徒の教育に一層の精進を重ねていく覚悟です。

礼節をわきまえ、愚痴や文句を慎む姿勢は大切だと思います。しかし、それだけですと新しい発想や知恵はなかなか生まれてきません。互いを尊敬しつつ、どんどんしゃべって元気を出していくところに新しい発想や知恵が生まれてくるのだと思います。そんな校長室にしたいと思っています。

## 5月の主な行事予定

1日(月) 村・学力テスト  
3日(水) こどもまつり  
8日(月) 生徒会朝礼  
9日(火) 眼科健診  
12日(金) 避難訓練  
15日(月) 学校朝礼  
16日(火) 内科健診  
17日(水) 食育 芝生の日

18日(木) 修学旅行(3年) 始  
19日(金) 夜明山戦跡調査(2年)  
母島移動教室保護者説明会(1年)  
23日(火) 不発弾に関する講話  
27日(土) 修学旅行(3年) 終  
29日(月) 振替休業日(3年)  
30日(火) 母島移動教室(1年) ~6月1日まで  
31日(水) 耳鼻科健診(2, 3年)

## 生徒会オリエンテーション・新入生歓迎レク

生徒会担当

4月10日(月曜日)の三校時・四校時に、生徒会主催の生徒会オリエンテーションが行われました。前半の三校時は、各担当の先生方から新入生を含む全校生徒に対して、評価・評定について、学習について、生活についての説明がありました。落ち着いた態度で、しっかりと話を聞くことができていました。四校時は、上級生から新入生に対して、各種委員会や部活動の紹介がありました。上級生は、昨年度の3月から発表原稿を作成し、前日にはリハーサルも行い、しっかりと準備をして臨みました。上級生らしく堂々と発表している姿に、成長を感じました。新入生も、「どの委員会、部活に入ろうか・・・」と興味深そうに話を聞いていました。

同じく4月10日(月曜日)の五校時・六校時には、生徒会主催の新入生歓迎レクリエーションが行われました。種目は、今年度も、新歓レク恒例のホッケーでした。全校生徒を縦割りにして、4チームでの総当たり戦で行いました。当日の運営は、生徒会役員が務めました。試合前、新入生は緊張した面持ちでしたが、いざ試合が始まると意志に火が付き、激しい攻防が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。皆、試合後は自然と打ち解け、温かい雰囲気の中で終わることが出来ました。学年を越えた交流ができ、とても有意義な時間になりました。



## 新しい学年が始まりました

### 「チャレンジ」

1学年担任

1年生の生徒たちは、明るく前向きに中学校生活を送ることができています。一つ一つの学習に一生懸命取り組んでいるので、良いスタートが切れたのではないかと思います。

学年の目標は、「One for class,class for one.」です。一人はクラスのために、クラスは一人のためにという気持ちで、集団生活を送ってもらいたいと思います。少しの我慢や少しの努力が必要な場面が必ずあります。そこから、ちょっとした気遣いや優しさ、思いやりなどにつながっていくことが理想的だと思います。個人の力がクラスの力につながり、クラスの力が、さらなる個人の力の伸長につながって欲しいと考えています。

生徒たちが考えた学級目標は、「何事にもチャレンジするクラス」になりました。中学生になり、小学校時代の積み上げを元に、自分たち自身が成長していくためのチャレンジをクラスでも個人でもしてもらいたいと思います。学年の教員も意識して生徒たちのチャレンジをサポートしていきます。今年度の教育活動のご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

### 「2年目の中学生」としての姿

2学年担任

保護者の皆様、地域の皆様、昨年度の教育活動に対するご理解、ご協力ありがとうございました。今年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

さて、学年目標は、昨年度と同様「人を大切に、物を大切に、時間を大切に」です。この学年目標は、我々学年の教員が生徒たちに求める姿だと考えてください。一方、生徒たちが考えた学級目標は『Voice』、つまり『声』です。昨年度のクラス反省では、様々な問題に対して、「お互いに声をかけあう」という対策が出されました。しかし、残念ながら実行力は不十分でした。仲間に『声』をかける、仲間の『声』に耳を傾ける、お互いに『声』を出し合う…。「今年はみんなで意識して、もっとお互いを成長させたい」、きっとそんなところからこの学級目標は生まれたのではないのでしょうか。

担任としては、「教室環境を整える」ことを意識してほしいと思っています。教室は、毎日学習し、一日の大半を過ごす生活場所です。目に見えるところでは、ゴミが落ちていない、落書きがない、机やロッカーの中が整理されている、など。目に見えないところでは、マイナスな発言や勝手な発言をしない、しっかりと話を聞く、など。一人一人が心がけないとできないことです。逆に、一人一人が意識しさえすれば、すぐにできるはずです。そし

て、それぞれが上級生として、様々なことにチャレンジしてほしいです。自分に妥協したり言い訳したりせず、自分の意志と判断で、困難を乗り越える経験をして、自分自身の成長を実感することを願っています。

## 3年生になって

3学年担任

中学3年生になり1ヶ月が経過しました。小笠原中学校の最高学年としての自覚が少しずつ芽生え、大変良いスタートを切っています。課題であった授業態度も改善の傾向にあり、学習に対し真剣に取り組む姿が多く見られるようになりました。意識して行動することで、今何をしなければならないのか、今どんな状況なのかを考えるようになってきています。良い状態を保ちつつ、更なる成長を期待しています。

学級目標は「UNITE」です。団結という意味です。中学校生活最後の年ですからクラスで団結して良い思い出をつくりたいという思いが込められています。まずは5月18日からの修学旅行でしっかり学び、楽しみ、良い思い出をつくりたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。この場をかりてお礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

## 修学旅行

3年生は18日（木）から9泊10日の修学旅行を実施します。主な行程を紹介します。

18日（木）14:45 クジラモニュメント前集合 出発式 見送り式 出港	23日（火）京都市内タクシー班別行動 京都から新幹線で東京へ
19日（金）16:40 竹芝栈橋着	24日（水）企業訪問 高校訪問
20日（土）新幹線で奈良へ 奈良公園散策等	25日（木）東京ディズニーシー
21日（日）貸し切りバスで法隆寺、平等院等へ	26日（金）11:00 竹芝栈橋出港
22日（月）京都で体験学習 班別行動	27日（土）11:00 二見港着 解散式

## 体験セーリング派遣

体験セーリング担当

小笠原諸島返還50周年記念として12年ぶりに開催された伝説の「小笠原ヨットレース」。これに先立ち、レースに参加するセーラーの皆さんのご厚意により、4月27日（木）にセーリングを体験しました。学年ごとにトレッキー、ビターエンド、マゼランメジャー、ティティスの4艇に分かれて乗り、避難岸壁を出艇しました。約90分間、湾内を帆走しました。ヨットの舵をとって艇を旋回させたり、帆を張るためのロープを巻いたり貴重な体験をしました。エンジン音のない静かなヨットの上では、セーラーの皆さんのレース等での貴重な体験を、艇内では何日も続く艇の中での生活ついて等いろいろなお話を伺いました。

当日は天候が心配されていましたが、雨に降られることなく充実した時間を過ごすことができました。日本セーリング連盟の皆さま、ありがとうございました。

## 保護者の皆様へ

### プール指導の延期について

本村では、昨年夏以降の少雨傾向が顕著であり、現在、小笠原諸島の日本復帰以降、最悪の渇水となった昭和55年に迫る水準までダムの貯水率が低下しています。

本校においても、これまでも校内活動における節水や生徒への節水意識の啓発。指導等行っているところではございますが、村内の渇水及び節水の取組み状況を鑑みまして、プール指導の実施につきましては当面の間、延期といたします。また、プール使用開始前に行う水抜き及び清掃についても同様に延期とします。

なお、今後、渇水の状況が改善し、プールの使用が可能になった場合には、改めて保護者の皆さまに連絡いたします。ご理解の程よろしく申し上げます。